

刊夕日八月一十

常 報 日 新 聞

定価 一部金 一月五拾銭 郵税五銭
 廣告料 五銭 十二字以上 行金五拾銭
 日曜祭日の日 休刊
 發行所 常報日新聞社
 印刷所 常報日印刷株式会社

秋の夜の

出ひ想

子玲村中

夕闇がしつとりと、ヴェールを下ろしてしまつた海港！港内に停泊してゐる船の航海燈だけが淡い光をそして強い光をあつたドス黒い海面に漂せてゐる、油を流し切つた様な海です、なせか私は海を——そして夕闇の下り切つた海をみつめてゐると、老いた母と幼い妹が想ひ出されてくると同時に別れようとする息子が海面にくつきりと浮び出て來るのです、私は涙の流れく

甲府観光

(耕影)

- 昇仙峽 仙峽の奇巖や紅葉夕映す
- 舞鶴城趾 雄將の遺勳を偲ぶ秋夕べ
- 葡萄園 累々と賞する紫玉や葡萄園
- 五湖めぐり 五湖めぐり樹海を透ふし秋の富士
- 富士湖畔神祕を採ぐる秋一日
- 身延山詣 日蓮の功德を仰ぐ秋の暮れ

るをどうする事も出来ないまでに弱り切つてゐる自分た自分を私ははつきりと知る事が出来るのです
 私は急にそして常に白紙の如き童心に——搖籃時代の自己に返りたくなるのです、戻れないと知りつつも戀ふるのです。
 ドス黒い空よ！そして海よ！父が慈父が私を呼んでゐる夕闇の彼方から永遠に

ノート

ガスが洩れたのを知らぬのは石鹼水を作り臭氣の洩れる近所に塗り付ける故障があればシャボンの泡が吹き出る
 戻らない旅に出た父が——私は大聲で父の名を呼びま

愛馬

飯村閑舟



越えよ 愛馬よ しづめを高く 峠に鳴らした いや鈴高く チヤンリン チヤンリン ハイヨ、ハイ ハイ それ蹴れ土を ホイヤ進めよ勇めゆけ 越えよ 愛馬よ そら、よるめくな ビンヤリ鞭打つ 峠の道を せめて、ヒンと

駒よ嘶け さうだ さうだよ はよ行こ 歸ろ それ 納屋 サヨ

高野 澤 易 斷 定 所 象
 前ノ堂町平 番一

十一月九日己卯九紫赤口定
 【白】病氣病難の心配ある
 か古き事件でゴタ／＼する
 の凶凶なれば萬事に注意
 肝要戌亥と辰己凶【二】金
 談縁談望事等進んで吉利を
 得る日只長男長女の怪俄注

意【三】碧我望に進んで吉利を得る吉日なれば怪俄紛失に注意して進みなさい未申丑寅凶【四】古きを捨て新金に進んで大利を得る吉日なれば革命革新革改は吉なり未申丑寅凶【五】營業取引に於て大利を得る吉日なれば水火の難に見舞ひ奔走して手足腰の怪俄して歸家する凶日なれば萬事に注意未申丑寅凶【七赤】金銭問題より家内口論を起す事あれば小供等の怪俄にも注意東西凶【八】金談縁談は他人の應援を得て吉を得る日戌亥と辰己凶【九紫】一週間に一度と云ふ凶日なれば萬事に注意して退き守るに吉なり

玉屋洋品店
 平町田町通電話六五六番

江戸前 料理 食器
 紅葉狩にはぜひ錦水の折詰
 辨當を御供させて下さい
 錦水
 電四五四

内科、小兒科、花柳病科
藤沼 醫院
 入院應需
 平町紺屋町 電話五〇七番

別仕立コート
 今秋冬の尖端
 自然美を機に上せて
 織なせる卓越せる生地
 を念入りに仕立しました
三井吳服店
 電 3 8 4

外科
 門 專 光 X
 科 線
上田外科醫院
 平町南町 電話一二九番

貸切
 御用命は!!!
 獅子吼(四四九)ノ勢デ
 マツサキ
 眞先ニ.....(マツサキ)
 三九ニタクシーへ!!!

縣會座を賑す

本郡下の二大問題

小名濱修築費の減額と

四倉漁港の修築浚渫船

明年度豫算審議の通常縣會は来る廿日から開會されるが同縣會に於いて本郡下の案件にして

問題の 焦点になる

あらうと見られて居るのは小名濱商港修築費減額及び四倉漁港修築浚渫船の問題である、前者は幾度か減額されその都度復活を縣會に於いて議決しその最後とも觀られるものが本年三月の臨時縣會で増額復活したものが本年代りの

六月となるや大藏省

の財政計畫で又々減額されたもので九年度に於いても

本省の復活見込み樹たないものであり後者はさる七月から港内掘鑿に就業すべき浚渫船が半歳に近き今日尙船体並に機關の不備で縣が請負者福島製作所より

引受す 既に千六百餘

圓の修繕費を投じ完全なものとならず或は到底使用に堪へざるものではないかと憂慮してあるものもあり従つて漁港修築工事が豫想外に遅延し一般漁業者のうくる不便尠くないと町當局から再三促進進行方を陳情中にあるもので共に成行きを注目されてゐるものである

入山採炭の

電力決定

日立電力の賣電 一錢五毛に低下

南遞相が裁定して

入山炭礦の所要電力五、五〇キロを明年一月一日より東部電が一手に供給すべしと昨年十一月其筋に申請した處從來の供給會社たる

日立電力より異議の申立てあり、その結果遞信省に於ける裁定の遅延となりその成り行き如何は爾來業界一般から注視の的となつて居る

が一昨六日午後一時半から南遞信大臣の招致により(入山)渡邊專務、太田理事(東部電力)橋本社長、内田支配人、(二本松電氣)田中支配人(日立電力)玉河專務

引受す 既に千六百餘

圓の修繕費を投じ完全なものとならず或は到底使用に堪へざるものではないかと憂慮してあるものもあり従つて漁港修築工事が豫想外に遅延し一般漁業者のうくる不便尠くないと町當局から再三促進進行方を陳情中にあるもので共に成行きを注目されてゐるものである

小名濱上水道計劃

來年度には起工の手續

小名濱町の上水道計劃は都市計劃法實施と共に是非明年度中に起工したいと今般町會議員中から委員を擧げ近く各地を視察する事となつた

勞務者講演

淺野會館に

日本勞務者協會主催磐城、入山、古河三大炭礦聯合の勞務者講演會は去る六日より来る十日迄淺野翁頌徳記念會館に於て開催されるが講師は左の如くである

一、東部電より日立へ供給しつゝある五〇〇キロを一、〇〇〇キロに倍加する事

一、同上より二本松電氣へ供給しつゝある不定時九〇〇キロを定時に改むる事

一、入山は日立電力より定時四、〇〇〇キロ、二本松電氣より一、五〇〇の供給を受ける事

一、日立の供給料金は入山の經營實情を考慮し入山と東部との契約締結の經過に鑑み協定する事

料金は東部並を基準とし從來の一キロ一錢七厘より一錢五毛に改むる事

斯くして各關係者一同別室に於いて協議の結果圓滿裡に協定成立し近く書類を作成し正式に右の申請をなす事になつた

されるが町田、高坂、宮城、同礦業所の五チームが出場すると

女師書方展の

平町入賞兒童

より本縣女子師範學校に於いて開催された第二回縣下兒童書方展覽會に夫々出品したが入賞兒童は左の如くである

- (第一)四年鈴木善彌 同龜山正邦 五年青木肇 六年關原定之 (第二)二年酒井正子 三年高橋京子 同大和田キヨ子 四年梅津吉子 五年根本つね子 同梶原ふみ 六年江尻みや子 同廣邊昌子 (第三)三年鈴木健三 同入江壽一 同松崎孝子 四年永島佳子

各級主將

平町の武道

校内對抗に 既報平商では本日午前九時半より同校道場に於いて校内クラス對抗武道大會を開催したが各クラスに於ける主將は左の如くである

- (柔道)一年甲伊東正勝 同乙金成久吉 二年甲鎌田力之助 同乙大平兵一 三年甲竹田秀太郎 同乙鳥越巖 四年甲真田久 同乙赤坂顯一 五年酒井時寛(剣道)二年甲石川榮一 同乙久田定男 三年甲若松一郎 同乙草野菊雄 四年甲渡邊新平 同乙塚本茂 五年關場修一郎

東部教育

代議員會

既報東部聯合教育會代議員會は来る十一日午前十時より平第二小學校に於いて開かれるが各郡に於ける代議員は左の如くである

- (石城)會我直治 津田達造 西山直三郎 安齊清七 中野目廣治 吉田庄太郎 鎌田安 鈴木佐四郎(双葉)志賀秀孝 佐藤留之助 根本貞治 富塚今朝治 佐藤武雄(相馬)馬場末松 荻宿論 大越宣市 佐々木清人

磐女臨時試験 磐女では本月より一齊に第二學期臨時試験を開始した

小名濱校

増築竣工

小名濱町小學校増築工事は五萬八千圓で施行中の處此程殆んど完成十二月中旬竣工落成式を舉行する豫定である

漁業設備

共同に獎勵金

石城郡小名濱漁業組合では漁業の共同設備につき獎勵金下附を申請中の處此程農林省より五千四百卅四圓を交附される事に決定した

美味! 芳醇! 宗正らひた

山崎合名會社 電話一〇番

市原醫院

平町 田町 電話一一四番

権利なしと氣付かず

十九ヶ年恩給を受く

其額二千三百七十五圓

恩給局からの返還請求

驚いて訴訟

戸籍上の手違ひから恩給扶助料を受ける権利を失つた者が知らずに十九ヶ年間に至り二千三百七十五圓の恩給を受けて居た事が発見された。

平町久保町二七沼田泰は明治廿八年一月日清戦争に出征

戦死しその恩給扶助料年額百廿五圓を同人の母

リツ(三)が受ける事になつた。當時リツは死者泰の弟寛齊の戸籍の中にあつたが大正四年五月分家沼田秀吉方に轉籍した。扶助料は戸籍が異動すれば支給出来ぬ事になつて居るのに氣付かず依然として

引續き受領して居た

が昨年三月十七日リツが死去したので恩給局は初めて不當の支給である事を発見受給額二千三百七十五圓の返還を要求し來つた。其處で段々に調べて見ると當時リツは沼田一家と共に會津若松に移住する事となりその

寄留届を代書人に依頼した處代書人は誤つて入籍手續に及んだ次第が明らか

かとなつたので沼田は恩給局の請求に對抗し入籍無効確認の訴訟を平區裁判所に提起し此程中島裁判長より無効確認の判決あつて

戸籍は訂正される事

求人開たくに

平紹介所が努力

来る十日縣下一齊に行はれる職業紹介宣傳デーに際し平職業紹介所では當日平町小名濱町、内郷村等に於いて映畫會を催す事は既報の如くであるが更に聯絡團體を三班に分ち町内各戸毎に求人開拓をする外常警炭

濱三郡三名の

教育功勞表彰

十二日の聯合教育會に

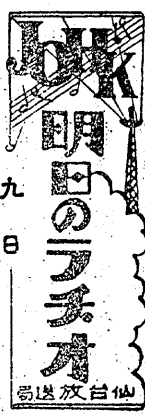
既報来る十二日午前十時より平第一小學校に於いて開催される東部聯合教育會總會の豫定は左の如くである

一、一郡一名の研究發表

一、一郡一名の教育功勞表彰

一、陸軍省新聞班員歩兵少佐松井真二氏の講演

一、弓友大會延期 既報来る十二日開催する筈である



明日のラジオ

九日

今夜は北の曇曇明日は北西の風天気良なる見込

今晩の部

後六、〇〇(子供の時間) 管絃樂と合唱 管絃樂一軍隊行進曲 二花の歌 合唱 結婚行進曲 仙臺管絃樂團 太陽保母養成所生徒 指揮 熊谷仙太

國民精神 出雲路通次郎 後八、〇〇 ラヂオドラマ 「おふくろ」

前八、〇〇 祝詞通釋 座 (四) 文學博士山田孝雄 前一〇、三〇 家庭講座 「職業紹介の話」青森縣地方職業紹介事務局長千田專平

後五、三五 受験講座 「幾何」高見豊 後六、〇〇 子供の時間 お琴

教員圖書研究

平町各小學校教員より成る圖書教育研究會では来る十四日午後二時半より第三小學校

防病員設置 磐城炭礦に 内郷村磐城炭礦では炭礦従業員の傳染病豫防の爲め近く防疫員を設置することになった

野兎狩り

國有林被害

平營林署管内の國有林には野兎が多數に繁殖棲息して居り植林の芽を噛み切る被害が多く殊に野兎病の害毒を人体に傳染する恐れがあるので近く野兎狩りを行ふ

菊花入賞

平町品評會

平町菊花品評會は去る三日から平署會議室に催されたが出品点数は百餘点に達して頗る盛況を呈し審査の結果入賞者は左の法く決定した

(優等) 一席黒雲殿柳田榮太郎 二席沖波松本磯右衛門 三席東海神同人 (懸崖) 一席江葉狩飯田近治

連れの男を迎へて行くとして姿を消す

窃盜前科二犯の無銭男

石城郡四倉町窃盜前科二犯石井敏雄(三)は昨日午後一時頃湯本町で無銭飲食の廉で捕へられたが其の遺り口は連れの男とフンダンに飲んだ揚句郵便局に金を取りにやると稱して相棒を立去らしめ歸つて來るのが遅れ居るから迎へに行くといふしドロンを決めこんだものである

記録測定

本日開始

既報平第一小學校では本日午前九時より同校々庭に於いて同校児童の公レコード測定會を行つたが種目は左

裁判所だより

△内郷村御臺境元綴局支配人太田三郎(七)は過般平支部に於て業務上横領事件に關し懲役一年六ヶ月を言渡され不服として控訴申立中の處此程宮城控訴院に於て懲役一年を言渡された

平職業紹介所報告

△求人を求める方
△女中 二十以下 尋卒 月五圓(平町某)
△車力 三十以下 尋卒 日給七十錢位(平町某)
△農夫 三十迄 委細面談 (江名町某)
△雜役 二十五才 委細面談 (江名町某)
△回職を求める方
△事務員 二十四才 早大 専門部出 給料面談(平町某)
△ソック 三十二才 高卒 給料面談(田村郡某)
△給仕 十八才 實業補習 卒 給料面談(渡邊村某)



【禁無斷轉載上演映畫】

寶井馬琴 演
山本英春 畫
第八十四回 血に飢ゆる村正

悪者共が集まり、何うか
回復をしたいものだと思ふ
矢先へ、此の八ッ橋の部屋
と云ふのは別部屋でござい
まして、八橋様といふ座敷
殊に庭には八橋を架けてあ
るのでございますが大分大
破いたしました、此の手入
れもしなければならず、何
かに就いて入用は金でござ
いりますが、客さへ足を抜く
位で誰も大金を抛つて八橋
樓を捨てやらうといふも
のはございませぬ、是をし
て呉れやうと思ふのは佐野
の大盡次郎左衛門でござい
ますが其後は丸で吉原へ足
を入れませぬゆゑ、何うし
たものだらうと相談を致し
ましたが、主人の三右衛門
もモ一佐野の大盡に來
て貰はねば汚れた暖簾を雪
ぐ事は出来ずと云つて佐野
の船橋へ謝りながら迎へ
に行くにも葛屋夫婦や阿波
太夫ではモ一次郎左衛門が
來る氣遣ひがない、ソコで
相談の上會所の四郎兵衛を
頼んで見ると是も商賣柄で
ございませぬから否やといは
ず、御同道致しませうと云
ふ返事に、一同の者は喜び
萬字屋の主人と會所の、郎

善「見掛倒してキツト家だ
けは立派でも、食物と來た
ら大變なものに違えねえ、
魚は少しいし料理人だつて
も拵へやう蕎麥も打たうと
いふやつで碌な料理番ぢや
アありませんよ」
藤「眞實に是を思へば江戸
は有難え、黙つて居ても食
へるだけの物を出すのだ、
此邊ぢやアマゴ／＼すると
さはらの船掛などは潰し船
でも持つて來るぜ」
と各々の悪口、いつか料
理番初め家の者の耳へ這入
つたと見えて、野郎見やが
れ俺達も江戸を食ひ詰めて
來て居る料理番だ、那奴等
を一番嚇かしてやらうと腕
によりを掛けて居りました
所へ女中が出て參りました
女「エー御湯が宜しうござ
いますから直に御風呂を御
召しなさいまし」
仲「ヘー湯があるよさ」
阿「据風呂でも沸かしたん
でせう」
仲「一人づつ、往くのかえ」
女「エエ皆さん御一緒で宜
しうございませぬ」
善「大方宿の銭湯へでも連
れて行くんだらう」
阿「夫にしてもまだ竹法螺
が鳴らねえがモウ湯が出来
たかしら」
と悪口を云ふのを聞兼ね
て會所の四郎兵衛が
四「お前方は商賣柄にも似
合はねえで悪口ばかりいつ
てるぜ、決してそんな事を
いふ事はならねえ、籤にも
強の者とかいつてどんな結
構な料理屋かも知れねえ」
叱られたので皆な黙つて



中別に御話しもなく
船橋まで參りました、尤も
次郎左衛門の家は在だとい
いて居りますれば
仲「エー皆さん、是から且
那の家へ行つて何か出ても
眞逆ガツ／＼食ふ譯にも行
かず、少し御腹が空いて居
るから此の邊で一寸支度を
して參らうぢやアござい

終ふ、女中の案内に連れて
湯殿へ往つて見ると、總檜
造りで水は始終吹出して居
るし、大概の銭湯も叶はな
い位、湯殿から見る庭の景
色忌に黒岩が積んであつた
り泉水に緋鯉の居るといふ
庭ではございませぬ、何れ
も茶庭になつて居りました
石燈籠などは餘ほど立派な
ものでございませぬ、この湯
で何れもグーの音も出なく
なりました、湯から上れば
仕立下しの浴衣も出て居り
ますし、何から何まで能
く手が届いて居ります、座
敷へ通るといつの間にか掛
物も掛直し、花も挿し替へ
てある様子、菓子が出る、
茶が出る、茶などは宇治で
三兩もしやうといふ結構な
のでございませぬ、流石の阿
波太夫もお仲もバクバクし
てゐる。

善「見掛倒してキツト家だ
けは立派でも、食物と來た
ら大變なものに違えねえ、
魚は少しいし料理人だつて
も拵へやう蕎麥も打たうと
いふやつで碌な料理番ぢや
アありませんよ」
藤「眞實に是を思へば江戸
は有難え、黙つて居ても食
へるだけの物を出すのだ、
此邊ぢやアマゴ／＼すると
さはらの船掛などは潰し船
でも持つて來るぜ」
と各々の悪口、いつか料
理番初め家の者の耳へ這入
つたと見えて、野郎見やが
れ俺達も江戸を食ひ詰めて
來て居る料理番だ、那奴等
を一番嚇かしてやらうと腕
によりを掛けて居りました
所へ女中が出て參りました
女「エー御湯が宜しうござ
いますから直に御風呂を御
召しなさいまし」
仲「ヘー湯があるよさ」
阿「据風呂でも沸かしたん
でせう」
仲「一人づつ、往くのかえ」
女「エエ皆さん御一緒で宜
しうございませぬ」
善「大方宿の銭湯へでも連
れて行くんだらう」
阿「夫にしてもまだ竹法螺
が鳴らねえがモウ湯が出来
たかしら」
と悪口を云ふのを聞兼ね
て會所の四郎兵衛が
四「お前方は商賣柄にも似
合はねえで悪口ばかりいつ
てるぜ、決してそんな事を
いふ事はならねえ、籤にも
強の者とかいつてどんな結
構な料理屋かも知れねえ」
叱られたので皆な黙つて

木村外科科
門專
院醫科外村木
際橋目丁五町平
○九三話電

門專
婦産科
花柳病科
井坂醫院
入院隨意
平町田町 電話五五九番

吉田眼科病院
眼科専門
院長 吉田 安雄
醫學士 吉田 久雄
平紺屋町 電話六八番

吸入用酸素純度99%
吸入用酸素
純度99%
體溫計
寒暖計
秤ノ取緒・垂糸・修繕致シマス
關内藥局
電話四〇番
寫真材料一式販賣致シマス

雜夫募集(掃除及)
一年 齡 十五六才以上、五十五才迄にして住込
みの出來得る方
一、學歷 尋卒程度、讀み書きの出來る方
一、給料は委細面談
姓 名 在 社